

平成17年度 関小学校のグランドデザイン

教育目標
よく学び 豊かな心で やりぬく子

関小の教育 確かな学力を育む信頼される学校づくり 3つの柱

確かな学力の向上

目標とする成果

国語科の「書く力」の向上
・通知表の評価で「大変良い」及び「良い」の評価が90%を越える。
児童の「書く力」の自己評価の向上
・児童の自己評価で伝えたいことが前より書けるようになったという児童が65%を越える。
総合的な学習で身につけたい課題解決力の向上
・教師の見取りと児童のアンケートにより「課題解決力が育っている」という評価が60%を越える。

「書くこと」に関する指導内容を重視した授業の実施

学習内容に応じた児童の自己評価の実施

「総合的な学習の時間」で、課題解決力を高めるための再調査や二次追求の計画的な実施

思いやりの心の育成

目標とする成果

友達やお年寄りに対するおもいやりのある行動
・児童のアンケート調査で具体的な「思いやりのある行動」を書けた児童が65%を越える。

いじめ・不登校の解消
・生活調べアンケートを実施し、「学校が楽しい」と答える児童が、85%を越える。

縦割り班を重視した学校行事(運動会・米沢峠越え・六送会)や愛公苑、ゆうあい等の施設訪問の前後に、関係価値の道徳授業を入れ、思いやりの心を育て深める。

生活調べアンケートの結果に基づいたカウンセリングの実施

たくましい体力の向上

目標とする成果

体育授業の充実と児童一人一人の運動量の確保を通じた児童の体力向上
・2月のシャトルランの記録が4月の記録よりも、上回る児童が90%を越える。
健康を意識して生活できる児童の育成
・バランスの良い食事が大切だと思う児童が90%を越える。
・睡眠不足について、「いつも感じている」「時々感じている」子を40%以下にする。
体育の授業に「体力アップタイム」を位置づけ、通年で実施する。
4月・6月・9月・2月の年4回全学年でシャトルランを実施し、記録を蓄積する。
学級担任が養護教諭との連携で「健康と睡眠」の授業、栄養主査との連携で「健康と栄養」の授業を実施する。

全教職員の創意ある教育活動・運営活動
PDCAによる学校評価・プロジェクトによる推進
職員評価 保護者アンケート 子供アンケート 学校評議員の意見

地域に開かれた学校

目標とする成果

保護者のアンケートの「学校は教育方針をわかりやすく伝えている」の項目の肯定的評価が90%以上
保護者のアンケートの「保護者と話す機会を多く持っている」の項目の肯定的評価が90%以上

学校行事・学習への参画
・ゲストティーチャー ・学習ボランティア
学校評価への参画
PTA活動の充実
基本的な生活習慣の確立
地域ぐるみの生活指導の充実

教育効果を高める環境づくり

目標とする成果

遊び環境を見直し、遊具や体育施設の全体整備計画を作成し、計画の2分の1を整備する。
保護者のアンケートの「学校は施設設備の面で環境整備を十分行っている」の肯定的評価が80%以上

飼育・栽培活動
・花いっぱい運動 ・一人一鉢活動 ・学校農園
・花壇 ・小動物飼育
遊び環境や体育施設の整備・充実
子供に働きかける展示・掲示の工夫
コンピュータ室、図書室などの言語環境の整備

